

食と健康

健康への貢献

KPI	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2024年度 中間目標	2030年度 目標
健康課題に配慮した商品の売上高 （'21年度比）※1	1.1倍	1.1倍	1.2倍	1.2倍	1.7倍
健康栄養に関する研究の論文公表数増加（特許含む）	・論文公表数47件 ・研究開発機能の強化として、研究本部人員増を実施。 ・健康栄養に関する研究開発を進める。	・研究論文公表数累計82件（2022年度以降） ・ビフィズ菌MCC1274、シールド乳酸菌®等に関する研究成果が科学雑誌に掲載 ・当社グループ研究員が「ビフィズ菌生菌末の製造技術および応用製品の開発」にて、文部科学大臣賞科学技術賞（開発部門）を受賞	・研究論文公表数累計122件（2022年度以降） ・トリペプチドMKP®に関する研究成果が科学雑誌『Nutrients』掲載 ・ビフィズ菌M-16Vに関する研究成果が科学雑誌『Gut Microbes』に掲載		
健康増進・食育活動への参加者 （'21～'30年度）	2022年度：約10万6千人 延べ人数：16万5千人	2023年度：約12万6千人 延べ人数：29万1千人	2024年度：約15万1千人 延べ人数：44万2千人	延べ35万人	延べ100万人
自社の健康貢献イメージ向上（コーポレートブランドイメージ調査※2）	17.9%	13.0%	20.4%	-	25%

※1 Topics「健康課題に配慮した商品設計」に記載している商品

※2 当社が実施する消費者調査。

食の安全・安心

KPI	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2024年度 中間目標	2030年度 目標
グループ全生産拠点でのFSSC22000などGFSI認証規格の取得※3	93% ※国内生産拠点取得率は、100%	100%	100%	認証維持・強化	100%
消費者の求める安全・安心のためのトレーサビリティの仕組み化	トレーサビリティのシステム化を推進	トレーサビリティの仕組み化を推進	トレーサビリティの仕組み化を推進		
品質事故ゼロ・法規遵守の取り組み継続	・サプライヤー監査の実施 ・新規サプライヤー採用時に品質監査を実施	・サプライヤー監査の継続的な実施 ・新規サプライヤー採用時に品質監査の継続的な実施 ・国内自グループ工場の品質監査の継続的な実施	・サプライヤー監査の継続的な実施 ・新規サプライヤー採用時に品質監査の継続的な実施 ・国内自グループ工場の品質監査の継続的な実施		

※3 ただし、社内規定に従い、当社得意先からの委託を受け、かつ当該得意先指定の特別な品質管理システムを適用する生産拠点は適用外とする。

資源と環境

気候変動の緩和と適応

KPI	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2024年度中間目標	2030年度目標
Scope1+2 CO ₂ 排出量削減率 ('13年度比)	23.0%	27.5%	29.1%	23%以上	38%以上
Scope3 GHG排出量削減率 ('20年度比)	10.0%	9.9%	10.7%	3%以上	10%以上
気候変動に対するBCPが策定された拠点の割合	100% ※森永乳業（株）国内直系製造事業所のみ。 今後、国内外連結子会社の気候変動BCP策定を行う。	100% ※森永乳業（株）国内直系製造事業所のみ。 今後、国内外連結子会社の気候変動BCP策定を行う。	100% ※森永乳業（株）国内直系製造事業所のみ。 今後、国内外連結子会社の気候変動BCP策定を行う。	-	100%

環境配慮と資源循環

KPI	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2024年度中間目標	2030年度目標
国内生産拠点におけるISO14001認証維持率	96% ※国内生産拠点認証100%取得に対する進捗率	96% ※国内生産拠点認証100%取得に対する進捗率	100% ※国内生産拠点認証100%取得に対する進捗率	国内全生産拠点認証取得完了	100%
石油由来バージンプラスチック使用量の削減率 ('13年度比)	22.9%	25.6%	24.9%	10%以上	25%以上
産業廃棄物の再資源化率 (ゼロエミッションの達成)	99.3%	99.4%	99.7%	99%	ゼロエミッション達成
水資源使用量の削減率 ('13年度比)	14.1%	16.6%	17.7%	11%以上	15%以上
排水処理水質の維持・向上	生産拠点の排水処理設備の定期的な点検による適切な排水処理の維持と、増産に応じた設備の増強を実施	生産拠点の排水処理設備の定期的な点検による適切な排水処理の維持と、増産に応じた設備の増強を実施	生産拠点の排水処理設備の定期的な点検による適切な排水処理の維持と、増産に応じた設備の増強を実施		
主要ブランドでの環境配慮設計の適応率	2023年度開示予定	91.4%	95.0%	-	100%

資源と環境

持続可能な原材料調達

KPI	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2024年度中間目標	2030年度目標
RSPO マスバランス認証への切替率	22.8%	45.0%	80.6%	80%（'23年度まで）	100%（'28年度まで）
FSC認証等環境配慮紙使用割合	30.4%	93.6%	99.9% ※2024年3月末時点、「ギリシャヨーグルトパルテノプレーン砂糖不使用280g」のインナーシールのみ、商品の一時販売休止のため切り替え未完了。 2025年度中に切り替え	100%	
原材料サプライヤーへの支援拡大	酪農におけるふん尿処理システム「MO(エムオー)ラグリーンfor Dairy」を那須岳麓農場に導入。	Sedex加入を通じた、サプライヤーの支援拡大	Sedex加入を通じた、サプライヤーの支援拡大		

人と社会

人権と多様性の尊重

KPI	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2024年度中間目標	2030年度目標
サプライチェーン全体での人権ポリシーの遵守	・人権デューデリジェンスの過程である人権リスクアセスメント、インパクトアセスメントの実施 ・苦情処理メカニズムの構築として、(社) Jacerに加入	人権インパクトアセスメントの継続的な実施（海外事業所1件、サプライヤー1件）	・人権インパクトアセスメントの継続的な実施（海外事業所サプライヤー1件、国内サプライヤー1件） ・海外有識者ダイアログ実施	人権DDの実行と対策、継続体制構築	継続遵守
女性管理職比率	5.8%	6.3%	7.2%	10%以上（'26年度まで）	20%以上
男性育休取得率	90.5%	95.8%	91.5%	-	100%
介護離職者	1.0%	3人	3人	0人	0人
重大労働災害発生日数	0件	0件	0件	0件（継続）	0件（継続）
社員エンゲージメントレーティング※4	-	B	B	-	A
人財育成に向けた研修投資額	3.1万円/人/年	3.4万円/人/年	4.3万円/人/年	-	4万円/人/年

※4 女性管理職比率目標は2024年 3 月に変更、社員エンゲージメントレーティングは2024年 3 月に新設しました。

地域コミュニティとの共生

KPI	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2024年度中間目標	2030年度目標
各事業所での地域活動への参加者延人数（'21～'30年度）	2022年度：5,927人 延べ人数：9,559人	2023年度：9,640人 延べ人数：19,199人	2024年度：46,657人 延べ人数：65,746人	3万7千人	10万人
地域活動を実施するグループ全体の事業所の割合	100%（国内）	100%（国内）	98.8%（国内）	国内100%	グループ内100%